

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第4回 所沢市障害者施策推進協議会
開 催 日 時	令和6年2月14日(水) 午前10時00分～11時40分
開 催 場 所	所沢市役所8階大会議室
出 席 者 の 氏 名	雨倉 聡、小川 奈津己、玉津島 滝子、仲 重夫、粕谷 廣子、 中島 亜希子、宮本 英行、荻野 司、熊谷 大、小澤 温、 菊池 芳久、木村 栄、荻野 亨、梅本 晶絵 以上14名
欠 席 者 の 氏 名	久保田 さおり、大島 幸子、齊藤 秀行、小野寺 祐樹、 古山 周太郎、石井 健司
議 事	(1) 第6次所沢市障害者支援計画案について (2) その他
会 議 資 料	1. 会議次第 2. 所沢市障害者施策推進協議会委員名簿 3. 第6次所沢市障害者支援計画案(資料1) 4. 第6次所沢市障害者支援計画(素案)に対する意見と市の 考え方(資料2) 5. 主要変更点(資料3)
担 当 部 課 名	福祉部 前田部長、内野次長 障害福祉課 一色課長、吉里副主幹、井上主査、齊藤主査、 岩崎主査、山田主査、藤原主査、 森川主任、守谷主事 こども福祉課 加賀谷課長、宮武主査、奈良主任 健康管理課 松井課長 こころの健康支援室 小野寺室長、千葉副主幹、矢部主任 (事務局)福祉部障害福祉課 電話 04-2998-9116

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開 会
事務局	—出席者14名— —傍聴者確認（傍聴者4名）—
会長	<p>《議事》</p> <p>議題（1）第6次所沢市障害者支援計画案について事務局から説明願う。</p>
事務局	—資料1、2、3について説明—
会長	質問はあるか。
委員	10ページ「出前講座の受講者数」について、令和4年度末の実績値が223人となっているが、34ページ、目標・指標は令和4年度末の現状値が197人となっている。何か違いがあるのか。
事務局	確認して整合を図る。
会長	後日、事務局より回答を行うこととする。
	〈後日回答〉
	令和4年度末の実績値について確認を行い、10ページの記載を以下のとおり修正した。
	指標1. 差別解消と権利擁護の推進。所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例に関する職員研修の受講者数（累計）。令和4年度末実績値を1,199人から1,229人に修正。
	障害者やその家族等に向けた成年後見制度に関する出前講座の受講者数。令和4年度末実績値を233人から197人に修正。
	指標6. 育ちと学びの充実。保育園等の障害児保育への巡回指導件数。令和4年度末実績値を1,246件から1,592件に修正。
	指標8. 情報アクセシビリティの向上。ウェブアクセシビリティ向上のためのホームページ操作研修の受講者数（累計）。令和4年度末実績値を137人から151人に修正。

委員	<p>37ページ、課題①障害者の社会参加の促進と課題②障害者と市民の相互理解をどのように促進していくのか教えてほしい。避難訓練に参加したが、ろう者や障害者の参加は少なく参加しづらいと感じた。今後、具体的にどのように促進するのかを記載いただきたい。</p>
事務局	<p>38ページ、今後の方向性、39ページ、コラムに記載している、文化芸術活動の提供や投票所のバリアフリー化推進を通じ、社会参加を支援していく。また、各障害者団体や市補助金で運営している地域活動支援センターへの活動支援を行うことで、社会参加の推進をどのように行うか示している。</p> <p>市民との相互理解については、障害者週間記念事業やこころの美術展、ライトアップブルー等の様々なイベントを実施し、障害のある方と市民の方が一緒に参加することで、理解を深めていきたいと考えている。</p> <p>避難訓練等の防災については44ページ「安全・安心なまちづくり」のテーマであり、46ページ今後の方向性（2）防災・防犯体制の整備①情報提供の充実、②防災体制の整備、③災害時の応急体制の整備に示している。</p>
委員	<p>39ページ、障害者週間記念事業の動画をYouTubeで見たが、手話のワイプも文字情報もなかったので来年度は対応してほしい。</p> <p>また、昨年度、市長の公約で公式動画に予算をつけて情報補償するとなっているが、その予算はどのように使われたか教えてほしい。</p>
事務局	<p>障害者週間記念事業について、公開した動画は映像や写真のスライドが音楽と共に流れており、音声での説明等を行っているものではない。このため、手話のワイプや文字情報がない動画となっているが、ご意見の通り、見た方が不安にならない配信をしていきたい。</p> <p>予算の使われ方とは、将来に向けての使われ方であるか。</p>
委員	<p>藤本前市長が公式動画では情報補償を行う、そこには予算が付いていると発言されていた。その予算は今年度、どのように使われたのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>動画に手話や字幕を付ける取組については、市長が変わっても担当課である広報課が人件費等について予算を適切に執行している。</p>

委員	<p>昨年11月9日に要望書を提出したがどの様な対応となったか。</p>
事務局	<p>前回協議会で委員の皆様へ別紙にて資料配布し共有した。</p>
委員	<p>46ページの下、注釈の予備避難所と福祉避難所の違いは何か。またその予備避難所にろう者は集まれるのか、そこで情報交換ができるのか、情報補償があるのか、そもそも予備避難所はどこにあるのか、教えてほしい。</p>
事務局	<p>本日は注釈にある説明以上の情報がないため後日回答したい。 <後日回答> 【福祉避難所と予備避難所の違い】 定義は以下のとおり。 ・福祉避難所：指定福祉避難所、協定等により福祉避難所として確保しているものを含んだ避難所であり、総称となる。 ・指定福祉避難所：あらかじめ受入対象者を特定し、指定福祉避難所として公示した福祉避難所。 ・予備福祉避難所：一般避難所に避難され、保健師等の判断により避難所での生活が困難と認められた要配慮者が二次的に避難する避難所。 現在のところ、市には予備福祉避難所のみ設定している。 【聴覚障害者は福祉避難所に入れるか】 福祉避難所に避難できないということはない。 しかしながら、福祉避難所は、一般の避難所に避難した方で、そこでの生活が困難な方が、保健師の判断により二次避難することとなっている。 【福祉避難所はどこにあるか】 市の施設や民間事業者との協定締結により、37箇所設定しており、HPにも掲載している。 一覧は添付のとおり。</p>
委員	<p>重度障害の方や医療的ケアの必要な方への支援についても十分記載のある計画になっていると思う。105ページ、見込量確保のための方策(2)日中活動系サービスの説明文中に「医療的ケアを必要とする障害者を受け入れる施設等に補助金を交付し」と記載があるが、既存の補助金なのか新設の補助金なのか教えてほしい。</p>

事務局	<p>すでに実施している、施設で医療的ケアの方を受け入れるため、看護師を配置いただく補助金を示している。</p>
委員	<p>105ページ(3)居住支援系・施設系サービスの記載について、通所施設にグループホームを作ってほしいとお願いしてきた結果、今では1つの法人や事業所につき1か所から2か所のグループホームができた。</p> <p>現在、横のつながりがなく各々が問題を抱えている状況である。(3)居住支援系・施設系サービスを記載いただけたことがありがたい。早急にこの方策を進めていただきたいと思う。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。計画に記載しているが、まだまだ課題はあり解決には時間がかかると思う。皆様のご意見を聞き、協力いただきながら一つ一つ解決に向け取り組んでいきたい。</p>
会長	<p>グループホームについては、新年度から国でも動きがあると思うので、所沢市でも充実して欲しい。</p> <p>－休憩－</p>
会長	<p>議題(1)第6次所沢市障害者支援計画案について引き続き質問はあるか。</p>
委員	<p>計画の策定にあたりアンケートを行ったと思うが、24ページに回答者が誰かの記載があり、本人が記入できない場合は家族や支援者が相談しながら回答したとの記載がある。集まった声が本人回答なのか、支援者が代わりに回答した意見なのかを知りたいので、内訳を教えてほしい。</p> <p>また、110ページ、検討経過内の2月14日第4回所沢市障害者施策推進協議会の表記を他と揃えてほしい。</p>
事務局	<p>110ページの表記については修正を行う。</p> <p>アンケートについては、本会議中に確認し回答する。</p>
会長	<p>表記の不揃いについては、110ページのみでない可能性がある。通常、印刷業者が最終確認をするところであるのでしっかり点</p>

	<p>検していただきたい。</p>
委員	<p>3年間の計画であるが、完成した計画に記載されている事業であっても、予算的に実施ができなくなる状況や縮小するということがあるのか。計画に記載されている内容は確実に実施可能なのかを教えてください。</p>
事務局	<p>予算は議会で承認され確定するまでわからないため、確約はできない状況である。しかし、計画を定めている以上、実現できるようにやり方を工夫するなど、目的を達成させるための努力をしていくことが我々の仕事であると考えている。皆様にもご協力いただき一丸となって取り組んでいきたい。</p>
会長	<p>基本的には約束事項とはなっているが、予算については議会が強い力を発揮するため、所沢市民の活動も必要となる。よろしくお願いしたい。</p>
委員	<p>99ページ、ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の受講者数・実施者数について、発達障害児の親の会の会員が多いにも関わらず、実績等の数をみると人数が少ない状況となっている。こどもと福祉の未来館のマーガレットで療育を受けている方を対象に実施していると思うが、マーガレットにつながっていない方や、まだ発達障害かどうかわからない方でもペアレントトレーニングを受けられるように広く広報を行ってほしい。</p> <p>ペアレントメンターの人数について、研修を行って活動している人が身近にいる。また、発達障害児の親の会の会員でも活動している人がいるが表が斜線となっている理由はなぜか。</p>
事務局	<p>ペアレントトレーニングについては、現在、マーガレットの相談につながった方を対象としている。発達障害への認知の広まり等によりマーガレットの利用者・相談者が増加傾向にある。機会の提供方法やマーガレットの事業内容、地域の資源としてできることを考えていきたい。</p> <p>ペアレントメンターの人数については、登録が埼玉県となっているため、市としての数値を記載することができない。今後、県との連携を行っていく必要があるとは考えている。</p>

事務局	<p>先ほどいただいたご意見である、アンケートの回答を誰が行ったかということについて、内訳を回答する。</p> <p>アンケート回答者の属性について、18歳未満の方は、代筆を含めたご本人が12.6%、同居家族が85.1%、その他0.3%、無回答2%である。18歳以上の方は、代筆を含めたご本人が76.5%、同居家族が17.6%、その他1.9%、無回答4%となっている。</p>
委員	<p>前回計画からの大きな変更はないが、実態調査や社会情勢を踏まえた見直しは行っているため、第6次障害者支援計画について、この計画で進めていければと考えている。</p> <p>第2章では、基本理念や施策の方向性の記載がある。施策の方向性の具体的な中身や取組については計画を進めていく中で、どのようにすれば基本理念に向かっていけるのか、議論しながら進めていきたい。パブリックコメントで貴重な意見があったため、自立支援協議会でもいかに具体的な取組みが行えるのか議論していきたい。</p> <p>福祉現場の人材不足が課題となっており、計画を推進していくためには、現場の職員確保が大きな鍵であると考えている。対応について検討し、工夫しながら進めていきたい。計画は絵に描いた餅ではないため、108ページに記載の関係機関との連携が非常に重要である。障害当事者に計画の推進に入っていただき、一緒に思いや気持ちを確認・共有しながら進めていくことが大事だと考えている。そのことも留意しながら計画を推進していければよいと思う。</p>
会長	<p>計画を完成させて終了ではなく、基本的な方針として第6次障害者支援計画がスタートする。具体的な内容や協議内容については実際に動かしながら検討する必要性が出てくる。</p> <p>自立支援協議会というもう一つの大きな柱もあるため、そちらでも計画の実現に向けての様々な工夫や考え方の整理も必要となってくる。計画が推進していくよう、車の両輪のように動かしていく。</p>
委員	<p>62ページ、地域生活支援拠点の整備の予算について、拠点の設置数を増やしていくように見えるが、委託費は市単独なのか、交付金に左右される可能性があるのか。左右される場合、事業の進捗はどのように変わってくるのか教えてほしい。</p>

事務局	<p>地域生活支援拠点は市単独の資金ではなく一定の補助が付いており、その取組により補助率が細かく分かれています。</p> <p>また、地域生活支援拠点の整備は、地域生活支援拠点会議等を通して協議を進めている。予算については国・県の方針により削られる可能性が0ではないが、目標達成に向け取組みを進めていけるよう推進をしている。なお、86ページ(2)地域生活支援拠点等が有する機能の充実に目標値と目標値の考え方が記載されているので、参考にしていただければと思う。</p>
会長	<p>地域生活支援拠点の補助については複雑な体系になっている。また通常のサービスのデザインとは異なるため、所沢市独自の考え方として必要に応じて示されるものとして受け止めたい。</p>
委員	<p>32ページ、虐待の防止について、所沢市で虐待が起こった際に調査や対策を行っていると思うが、どのように進めていくのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>障害者への虐待が発生・発見した場合、通報内容に基づき事実確認を実施している。早急に対応する必要がある場合は緊急会議を行う。コアメンバー会議という形で実施しており、虐待の程度、緊急性、対応方針の検討を行っている。虐待の類型は、養護者による虐待、施設従事者による虐待、利用者虐待等があるが、養護者による虐待、施設従事者による虐待については、虐待が認定された場合、対応方法の検討結果によって相談対応や被虐待者の保護、虐待者への適切な指導・助言等を行っている。近年グループホームにて施設従事者による虐待が増加傾向にあるため、県と情報共有を図りながら対応している。人権の保護を配慮する必要もありデリケートな問題ではあるが、引き続き虐待防止や権利擁護の強化を図っていく。</p>
委員	<p>虐待の判断をしている方はどのようなメンバー構成になるのか。暴力など分かり易い虐待ではなく、言葉や行動によって判断が迷う場合があると思う。構成メンバーには医師等がいるかを知りたい。</p>
事務局	<p>判断については、客観的事実に基づき行っている。行政、基幹相談支援センター、相談支援事業所等が基本的な構成メンバーであり、ケースにより変更する場合がある。現在の体制で医師はいない</p>

	<p>が、複数の有資格者がメンバーとなっている。客観的に判断できるようなアセスメントシートを用いており、参加者の個人的な見解で判断してはいいないことを理解いただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>他に意見はないか。意見があれば会議後に事務局に連絡してほしい。第6次所沢市障害者支援計画案について、諮問という形式をとっている。誤字脱字やデザインなどの修正については事務局と会長に一任いただき、最終諮問としたいがよろしいか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし。</p>
	<p>案について承認された。</p>
<p>会長</p>	<p>議題（2）その他について、事務局から説明願う。</p>
<p>事務局</p>	<p>その他についてはありません。</p>
<p>会長</p>	<p>計画の進捗管理等は次年度、実施していくこととなる。引き続き、内容の精査を行いよりよいものとなるよう、今後も協力いただければと思う。</p>
	<p>閉 会</p>